

学校と
家庭と
地域を

つなぐ



三島市立山田中学校

※学校ホームページでもご覧になれます。

1 高め合う仲間づくり



新たな年、新たな目標に向けて、意欲的な活動が始まりました。平成25年を明るい表情の元気なお子さん、やる気に満ちた職員とでスタートすることができました。これも保護者の皆様や地域の皆様のおかげと、深く感謝申し上げます。

また、学校生活におけるまとめの時期となります。三年生は、九カ年の義務教育を終え、入試や就職試験に挑戦し、自分の進路を自分で決める大切な時期となりました。一、二年生は、三年生はその頑張る姿を手本に、将来のことを少しまじめに考え、今の自分のあり方を決めてほしいと願っています。自分の持ち味（良さ）を活かす道（方向）が見つかると思います。

さて、人知れず良い行いをしている生徒の話の聞いたり、少しでも生徒の成長を確信することは、とてもうれしいことです。本校は今、どの学年のどのクラスの授業でも、子どもたちの表情は明るく、のびのびと自分の考えや思いを述べています。それは、自分の話を聞き、自分を認め受け入れてくれるクラスの仲間がいるからこそできることだと思います。互いに認め合い理解しようとする姿が見られます。

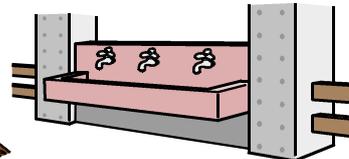
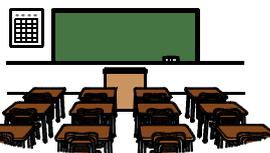
人の欠点は容易に指摘できますが、良さは努力しないと見つけられないのかもしれないかもしれません。人の良さを見つけることができる人は、きっと、心の持ち方の優れている人だと思います。人の気持ちの分かる「思いやりの心」を持った生徒ということになります。本校では、そういう生徒が育ってきていることを、たいへんうれしく思います。

友だちとの交わりの中で、時には喧嘩もしながら身につける「がまんする心」や「思いやる心」、家族の方や地域の方との、人と人との関わりの中で身につける社会性や公共性など、本校の生徒は確実に身につけているのではないのでしょうか。

さてここで、さらに本校生徒に身につけさせたいこととして、「高め合う仲間づくり」があげられます。高め合う仲間とは、「互いに認め合い、より高い自己実現を目指し、互いに切磋琢磨する仲間」ととらえています。そこには、「頑張る心」や「向上する心」、「思いやる心」、「最後まであきらめない粘り強い心」など、「豊かな心」と「強い意思」を持った仲間がいることが必要条件です。

テストの結果や成績に比べると「心の豊かさ」や「意思の強さ」は、目に見えなくて成果につなげにくいことですが、生きていくうえで大切なことがらです。「自分を見つめ、自己を受け容れる過程」や、「さらに自分自身を伸ばしていく意欲」、「つらくてもへこたれない、あきらめない場面」を大切にしながら、「豊かな心」と「強い意思」をもつ「高め合う仲間づくり」を目指したいと考えています。

そのことが、本校の学校教育目標である「未来を拓く感性をもち、共に高め、ひびき合う生徒」の具現化につながると考えています。今後とも、本校教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。



2 学校アンケートから

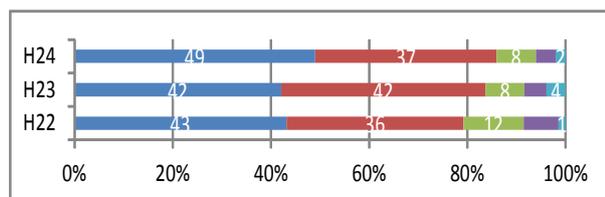
11月に実施した学校アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。

学校経営目標を「自分の生き方を求め、計画的な努力を通して確かな学力を身につけた生徒」と定め、1年間様々なことに取り組んでまいりました。この学校経営目標は、3年目となります。学校アンケートは、同じ内容の質問を保護者、生徒、教職員の三者に質問し、その結果から来年度の教育計画にいかしていきます。ここでは、その一部をお知らせしたいと思います。（本年度のアンケートの結果は、3月の学校だよりに掲載いたします。）

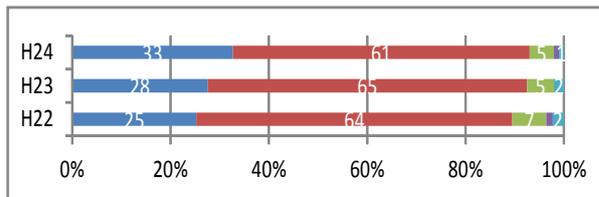
下のグラフは、それぞれの質問のH22～H24の変移を示しています。

質問2：学級や学校生活は楽しい。（保護者：子供は、学級や学校生活を楽しく送れるように努めている。）

(生徒)

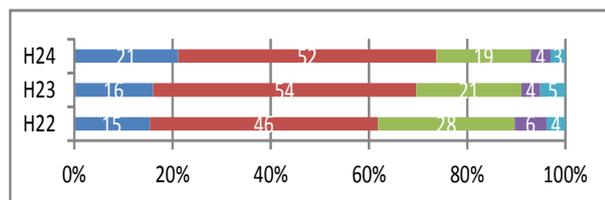


(保護者)

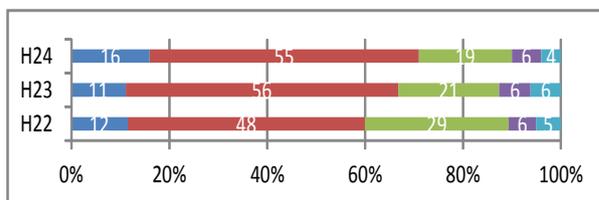


質問4：授業の内容がよくわかる。（保護者：子供は授業の内容を理解している。）

(生徒)

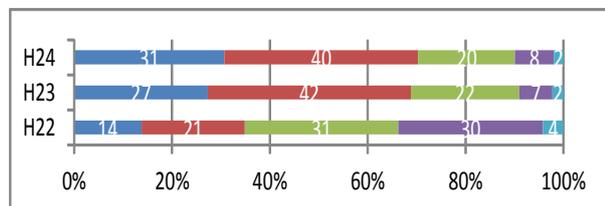


(保護者)

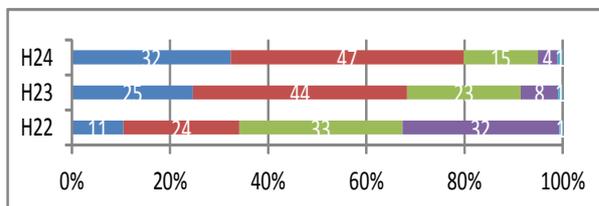


質問5：毎日家庭学習を行っている。（保護者：子供は毎日家庭学習を行っている。） ※ H22は2時間以上という条件が入っていました。

(生徒)

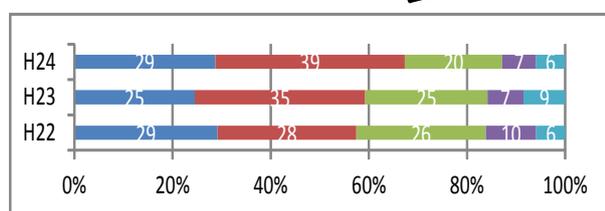


(保護者)

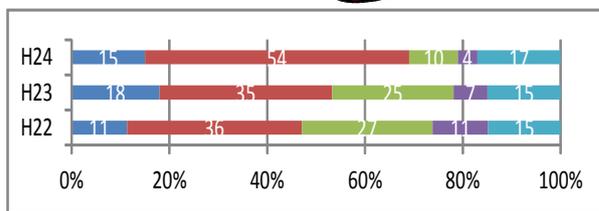


質問6：自分の将来の生き方（進路）について考えることができた。（保護者：職業調べや職場体験等によって、子供は生き方（進路）を考えるようになった。）

(生徒)



(保護者)



※左からそう思う、おおむねそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、わからない。

以上の結果から、学校経営目標達成に向けての学校の取組が、徐々に成果や数値となって表れてきていると考えられます。特に本年度は、家庭学習の定着に向けて各学年で学習プリントや自習学習に力を入れ、保護者の方にもご協力をお願いしてきました。あと三ヶ月も落ち着いて学習に取り組み、「夢」をもって卒業、進級してほしいと願っています。本年も、ご理解とご協力をお願いいたします。